

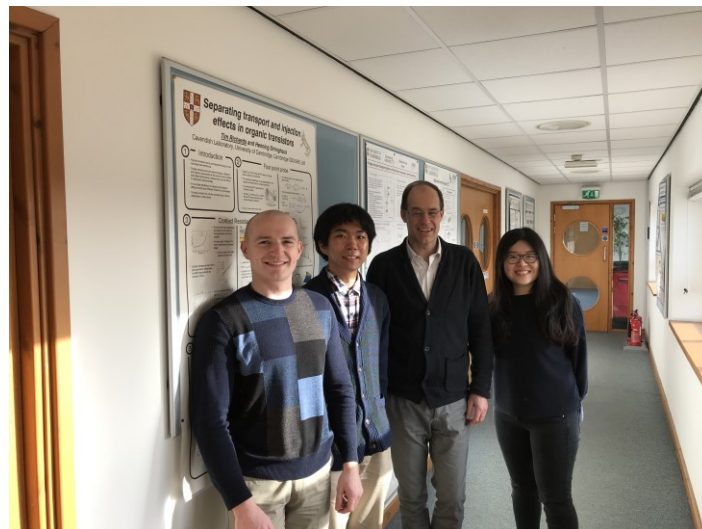
ケンブリッジ大学での滞在

化学専攻 博士1年 豊田良順

2018年1月1日から3月30日までの期間、イギリス・ケンブリッジ大学に滞在し、有機半導体物性の研究で有名な Cavendish 研究所 Henning Sirringhaus 教授のグループとの共同研究に参加しました。普段、所属研究室では錯体化学を基礎とした機能性配位高分子の創製という研究テーマを持っていますが、今回は配位高分子材料の物性測定を目的に実験を行いました。海外での生活、電子デバイス物理など初めてのことばかりでカルチャーショックを受けることもありましたが、実験協力者や現地の人々に支えられ、充実した三ヶ月間を過ごすことができました。

ケンブリッジでの研究は分野が日本のものと異なっていたため、いままで扱ってきた対象についても新しい観点から研究を進められたことが面白かったです。また滞在中、報告会などで他のグループメンバーが取り組んでいる課題内容を知る機会にも恵まれ、研究の進め方や目的意識の違いなども感じ取ることができました。研究において細かい部分を大切に、丁寧に調査する姿勢が印象的で今後の参考にしたいと思いました。これからも Sirringhaus 先生との共同研究を続けていくことになったので、境界領域での研究をさらに進めていきたいです。

最後に、海外派遣の貴重な機会を与えてくださった ALPS 関係者の皆様、指導教員の西原寛先生、快く滞在を受け入れてくださった Sirringhaus 先生とグループの皆様に深く感謝申し上げます。



研究室の方々との写真。左から Remington さん、筆者、Sirringhaus 先生、Yuanhui さん。